



こんちわ奥さん



大丸エナウエツン 株式会社

「こんにちわ奥さん」係

〒559-0022

大阪市住之江区緑木1-4-39

TEL.06 (6685) 5101

ファックス 0120-093-025

ホームページ <http://www.gas-daimaru.co.jp>

「こんちわ奥さん」係から

日本人は、才能がありながら不遇のうちに亡くなった人を愛し、畏怖します。源義経、西郷隆盛などが挙げられますが、その典型、原型は菅原道真ではないでしょうか。学才があり、右大臣にまで昇進したものの大宰府に左遷され現地で没しました。道真の死後、平安京では落雷などの天変地異が多発したため、朝廷への崇りと怖れられ、雷の神である天神（火雷神）と同一視されました。後には学問の神様として「天神さん」と親しまれるようになり、今では全国各地に天満宮があります。主を慕って大宰府まで移動したという飛梅伝説のため、道真といえは梅が思い浮かびますが、紅葉も愛でたと伝えられます。写真は、京都・北野天満宮の紅葉です。



静電気対策のワザ 木も石も電気を通す



4年前、このコーナーで、冬の静電気対策をとりあげました。自動車のドアや部屋のドアノブに触れるとパチッ、セーターを脱ぐとパチパチ。これらはすべて静電気の仕業で、その基本的対策として衣類の組合せ方を紹介しました。てっとり早い対処法として、神経のない爪で触れて放電させる方法も紹介しました。今回は、もっと効果がある対処法をとりあげます。

1万ボルト以上になることも珍しくない静電気。3000ボルト以上で痛みを感じ、1万ボルトになると手全体が強い痛みを感じます。家庭用の100ボルトの電圧では感電の危険があるのに、1万ボルトの静電気ではショックはあるものの感電死の心配はありません。何故でしょう。それは、静電気の「電流」がほとんどゼロのため、身体の中にまで及ばないからです。生命が危険にさらされる電流は50〜100ミリアンペア以上といわれます。簡単に説明すると、電圧は電

気（電荷）を移動させる力、電流はその量です。電圧は、電荷をどこに移動させたいのかわかりません。それは、もっとも大きなもの、つまり地球です。アース、接地させたい力、それが電圧です。

この接地させた力を利用した、冬の静電気対策があります。ドアノブに触れる前に、部屋の壁に手の平でタッチすると、静電気が逃げます。自動車のドアなら木製キーホルダーで触れます。なければ木片でもかまいません。木、紙、コンクリート、石などは電気を通さないと思われていますが、静電気は電圧が高いため、これらを通るのです。しかも、金属のように急激にはなく、ゆるやかに通るので、パチッという衝撃がありません。ガラス、プラスチックなどは静電気で通さないのに注意。

ガス機器使用時には換気をおこなってください。

小型湯沸器をご使用のお客さまへ

換気が不十分な状態でガスが燃焼すると、不完全な燃焼となり、一酸化炭素中毒を起こし、**死亡事故**になる恐れがあります。**必ず換気扇を回すか、窓を開けるかして、換気**をしましょう。

- たびたび火が消える場合は、再点火せず、当社又はメーカーへ連絡してください。
- 不完全燃焼防止装置のない小型湯沸器はお取り替えをおすすめします。

ガストーブ等をご使用のお客さまへ

暖房中は30分に1回程度、新鮮な空気に入れ替えましょう。お部屋を閉め切ったまま暖房を続けると不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こし、**死亡事故**になる恐れがあります。

